

ファンドによる起業支援への取組

(金融機関名) 盛岡信用金庫

1. 動機（経緯）	人口減少、事業所数の減少は、地域経済における喫緊の課題であった。また、東日本大震災をきっかけに沿岸部から内陸部に人材の移動がおり、その中でも技術や経験を有した人材が内陸部（盛岡）で起業することが考えられ、意欲を持った人材が会社を起こすことは、地域にとっても大きなプラスである。また、融資での限界も感じていた折、資本性の資金を供給することで起業を支援できるとの考えに至り、地域活性化の為の施策として実施。
2. 概 要	盛岡信金、盛岡市、滝沢村、フューチャーベンチャーキャピタルは、24年8月、起業化をスムーズにし、その後の成長・安定につなげることを目的として、「もりおか企業ファンド（もりおか起業投資事業有限責任組合）」を設立した。出資総額は5千万円。（最終的には1億円を目標） 資金供給は当然ながら、経営関与を最重視したハンズオン投資で、ビジネスマッチやネットワークを通じた販路開拓等（盛岡信金）、インキュベーション施設の利用等（盛岡市、滝沢村）の支援により、起業時の資金確保や事業経営といった課題に対応する。 盛岡広域の起業化を促進することで、雇用の創出、地元経済・産業の活性化を目指し、また、震災で被災した沿岸地域から内陸部へ移る被災者の起業化や雇用機会の確保にも繋がる取組。
3. 成果（効果）	昨年8月の設立から、当初の予定を上回る件数で起業家、企業設立数年の代表者から相談、照会を受けており、当ファンドに対し一定の関心を得ていると思われる。平成25年1月に投資第1号として、2社に実施。3月にも新たに2社へ投資。
4. 今後の予定（課題）	現在、3社の投資審査を進めているほか、投資審査候補先として5社を検討している。今後も起業家、企業からの相談・要望を受け、多くの起業化に貢献することで、雇用の創出、地元経済・産業の活性化を目指す。